

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告書（平成30年度版）

知立市

知立市人口ビジョン推移

(1) 総人口の推移
(資料: 国勢調査)

年	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	3035	2040	2045
人口 (実数)	20,542	26,800	41,896	47,209	49,432	50,506	54,059	58,578	62,587	66,085	68,398	70,501						

(資料: 知立市人口ビジョン シミュレーション2)

年	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
人口 (実数)											68,398	70,055	71,169	71,722	71,942	72,164	72,342	72,222

(資料: 社人研 平成30年推計)

年	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
人口 (実数)												70,501	72,002	72,870	73,246	73,172	72,706	71,942

(2) 年齢3区分別人口の推移(資料: 国勢調査)

年	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
総人口	49,432	50,506	54,059	58,578	62,587	66,085	68,398	70,501						
年少人口 (0~14歳)	13,311	11,996	10,297	10,445	10,845	10,891	11,279	10,164						
生産年齢人口 (15~64歳)	33,255	35,044	39,409	42,576	44,420	45,597	46,184	45,714						
老年人口 (65歳以上)	2,848	3,432	4,269	5,543	7,315	9,257	11,279	13,414						

(3) 出生死亡・転入転出推移(資料: 住民基本台帳に基づく人口・人口動態・世帯数)

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
出生	869	782	721	882	838	855	779	816	808	849	793	760	790	781	752		
死亡	380	354	363	329	378	396	393	442	412	453	453	491	490	455	539		
転入	4709	5183	5526	5343	5551	5612	4973	4704	4959	4946	4644	4627	5,351	5517	5957		
転出	4526	4119	4934	4961	4956	5562	5870	4932	4506	4790	4667	4756	5,059	5396	5485		

(4) 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響(資料: 住民基本台帳に基づく人口・人口動態・世帯数)

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
自然増減	489	428	358	553	460	459	386	374	396	396	340	269	300	326	213		
社会増減	183	1064	592	382	595	50	-897	-228	453	156	-23	-129	155	121	472		
人口増減数	672	1492	950	935	1055	509	-511	146	849	552	317	140	455	447	685		

(5) 合計特殊出生率の推移(資料: 人口動態調査)

年	1998-2002	2003-2007	2008-2012	2013-2017	2018-2022
合計特殊出生率	1.64	1.7	1.79		

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート(平成30年度)

基本目標1:しごとをつくり、安心して働けるようにする

数値目標	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	基本目標の評価
就業者数	35,036人(2010年)	36,500人(2020年)	35,608人(2015年)	35,608人(2015年)	—

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	平成29年度の取り組み事業	今後の展開
創業及び事業継承への支援	経済課	創業支援者数	73件(年間)	125件(年間)	49件(年間)	31件(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談 ・創業個別相談会 ・セミナー 	創業支援計画に基づいて、市、商工会、金融機関での窓口相談、商工会での週末創業個別相談会及びちりゅう経営塾を実施した。また、関係機関担当者会を開催することで、相互の情報共有を図る。
		創業者数	20件(年間)	40件(年間)	4件(年間)	9件(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談 ・創業個別相談会 ・セミナー 	創業支援計画に基づいて、市、商工会、金融機関での窓口相談、商工会での週末創業個別相談会及びちりゅう経営塾を実施した。また、関係機関担当者会を開催することで、相互の情報共有を図る。
ふるさと納税の推進	財務課	ふるさと納税額	37万円	5,000万円(年間)	11,248万円(年間)	6,440万円(年間)	寄附の目的及び目標額を明確にしたGCF事業の取組を開始した。平成29年度は、山車修復プロジェクトを実施し、目標額7,000千円のところ、43件5,264千円の寄附があった。	市制50周年事業に係るGCFを実施し、新たな返礼品の開発に努めるとともに、事務費用の削減等を通じて、収益率の向上を図る。
商店街活性化支援	経済課	—	—	—	—	—	街路灯電灯料補助を行った。また、空き店舗を活用した観光交流センター開設準備を行った。	知立駅周辺商店街統合支援、街路灯電灯料補助、電光掲示板整備補助により、商店街の活性化の支援をしていく。また、観光交流センターを開設することで、周辺商店街の活性化の1つの拠点地としていく。
知立駅北地区市街地再開発事業等の推進	まちづくり課	—	—	—	—	—	再開発ビル完成に向けての組合補助及び組合支援	再開発ビルの完成により、中心市街地の活性化やまちなか居住の推進を図る。

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート(平成30年度)

基本目標2: 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	基本目標の評価
年間の人口移動総数	-	社会増へ転換・維持	社会増 増加人数121人	社会増 増加人数472人	以前として30～39歳の移動率はマイナスである。 Facebookなどシティープロモーションを更に推進し、市内に定住するメリットの周知を図っていく。

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	平成29年度の取り組み事業	今後の展開
シティープロモーションの推進	企画政策課	シティープロモーション 特設ホームページの閲覧数	0	700件(月平均)	1,013件(月平均)	740件(月平均)	Facebookページ「かえるまち知立」の運用 いいね!数(564人)	転出超過傾向にある30代の男女、特にDEWKSに対するプロモーションを強化するため、Facebookページ「かえるまち知立」のコンテンツを増やしていく。 シティープロモーション特設ページ内の掲載コンテンツを増やし、閲覧数を伸ばしていく。
		30～39歳の移動率(転入者の割合)	-46.7925	30%向上	-	-		
企業誘致の推進	企画政策課	-	-	-	-	-	愛知県と合同で企業訪問(2社)を実施	進出希望企業の需要のリサーチ及び、市内企業の転出抑止のため、企業訪問を増やしていく。 都市計画マスタープランの改定に合わせ、新たな産業ゾーンを位置づけ、企業立地を推進する。
インターン受け入れの推進	総務課	-	-	-	-	-	・大学生インターンシップ受け入れ(29年度3名) ・大学キャリアセンターへの呼びかけ ・中学生、高校生の職場体験の受け入れ	引き続きインターンシップ受け入れの呼びかけと積極的な受け入れを推進し、市役所業務の理解と採用受験者数の増加を図っていく。
市マスコットキャラクターの活用推進	経済課	-	-	-	-	-	・LINEスタンプ販売 ・ゆるキャラグランプリ総選挙 ・各種イベント参加 ・着ぐるみ貸し出し ・デザイン無償使用制度 ・ちりゅっぴサポーターズ制度	現在実施している制度を継続しつつ、新たにサポーターズ会員を中心とした市民によるサポート制度を構築したい。
キャリア教育の推進	学校教育課	-	-	-	-	-	中学生の職場体験学習や、地域の方による生き方指導・教育を行うことで、地元への愛着や地元への進学、就職の意識を高めた。 小学校においても、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進した。特に、八ツ田小では、県の「魅力あるあいちキャリアスクールプロジェクト」推進事業を受け、地域講師に学ぶ体験活動や講話を通して、考えを深める授業実践を行った。	望ましい職業観を醸成できるよう職場体験や生き方指導を核とした小1から中3までの継続的・系統的な教育の推進に努める。
三河知立駅移設に伴う北部まちづくりの推進	都市開発課	-	-	-	-	-	・知立連続立体交差事業 ・移設駅用地取得済	駅へのアクセス道路整備により、交通の利便性や住環境の向上を図る。 また、駅勢圏の設定に伴い経済活動の活性化や定住人口の増加につながるような駅周辺整備を目指す。
大学生・高校生等との連携事業の推進	各課	-	-	-	-	-	【企画政策課】 ・愛知大学と連携し、藤田屋の新大あんまき開発事業を実施 ・知立東高校による県立高等学校教育課題研究指定校事業への協力 【福祉課】 UR都市機構と知立市及び名城大学間における連携事業の検討 【経済課】 高校生(山本学園、知立高校)に対し、よいとこ祭りのボランティア参加を依頼 【文化課】 ・知立高校生による「絵本の時間スペシャル」 ・知立東高校生による「ブックスタートボランティア体験」 ・知立高校生による「知立高校生版ビブリオバトル」	【企画政策課】 愛知教育大学だけでなく愛知大学との協定も締結し、連携事業の検討を図る。 【福祉課】 知立団地及び周辺地区における、地域交流の促進、魅力の向上に関する取り組みを名城大学生を中心に実施していく。 【経済課】 今後も継続実施 【文化課】 現在行っている「絵本の時間スペシャル」「ブックスタートボランティア体験」を継続しつつ、さらなる参加校の拡充を図るとともに「高校生向ビブリオバトル」などヤングアダルト向けのイベントを増やしていく。
伝統文化等を活用したシビックプライドの醸成	文化課	-	-	-	-	-	・歴史文化基本構想の策定 ・「知立のからくり」海外公演支援	「知立の山車文楽とからくり」など市の代表する歴史文化遺産の積極的な公開・活用を推進する。
	学校教育課	-	-	-	-	-	地域の方のご指導を受けて、山車文楽の学習を知立中学校で実施した。	山車文楽をはじめとする知立の伝統文化を他校へ広げていく。

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート(平成30年度)

基本目標3:若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	基本目標の評価
合計特殊出生率	1.79	1.8(2030年までに)	-	-	-

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	平成29年度の取り組み事業	今後の展開
若年男女の出会いの場の創出	企画政策課	-	-	-	-	-	婚活イベントを2回、恋愛スキルアップ等を図るセミナーを1回実施した。 <延べ参加者数> 婚活イベント:男性40名、女性39名 計79名 セミナー:男性23名、女性21名 計44名	婚活イベントにおいてカップリングが増える仕組みを導入し、参加者の満足度の向上及びカップリング数の増加を図る。
待機児童の解消	子ども課	待機児童	-	0名	0名 (平成28年4月1日現在)	25名 (平成29年4月1日現在)	平成30年度から一時保育の実施園を集約することにより、通常の入所枠を9名増員した。 知立市教育・保育施設等再配置計画策定会議において、対応策の検討を継続実施する。	来迎寺子育て支援センターを来迎寺児童センター内に移転し、来迎寺子育て支援センター移転後の同部屋を来迎寺保育園の保育室として活用することにより、平成31年度から0、1歳児の定員を15名増員する。 知立市教育・保育施設等再配置計画策定会議において、対応策の検討を継続実施する。
女性管理職の増加	総務課	-	-	-	-	-	・女性職員を対象とした内部研修・派遣研修の実施 ・育児休業等の制度充実にかかる例規の整備	「働き方改革」の実現に向け、働きやすい職場環境の構築に向けた制度や研修メニューの充実を引き続き図っていく。
少人数学級の拡充	学校教育課	少人数学級の全小中学校全学年での実施	-	100%	78%	78%	一人一人の児童保護者の教育的ニーズに合わせた、きめ細かな指導体制を充実させるため、少人数学級を小学校6年生まで拡充した(H28年度)。 また、教員や支援補助員等を必要に応じて配置した。	一人一人の児童・生徒の状況に合わせた、きめ細かな指導を充実させる。特に中学校では、チームティーチングや少人数指導授業を積極的に実施するため、必要に応じて教員を配置する。
ファミリー・サポート・センター事業の拡充	子ども課	会員数	-	700人	674人	590人	・提供会員になるための研修を年3回開催、募集は広報にて実施 ・よりよい援助のための講習会を実施 ・新規依頼会員に対し、ファミリー・サポート・センター事業の現状を丁寧に説明 ・国の方針により、年1回の会員の更新を行ったため、会員数が減少した。	依頼会員および提供会員の増加のため、PR用のポスターを作成する予定
子育て支援ポータルサイトの開設	子ども課	-	-	-	-	-	スマートフォンで見ることのできる子育てアプリの導入を検討し、主に内容の検討を行った。	スマートフォンで見ることのできる子育てアプリの導入を引き続き検討する。
妊娠期からの切れ目のない支援の拡充	健康増進課	-	-	-	-	-	・母子保健支援相談員(母子保健コーディネーター)専任2名配置 ・産後ケア事業 ・産後家事援助事業助成	今後も継続実施
	子ども課	-	-	-	-	-	基本型利用者支援事業における子育て支援コーディネーターを中央子育て支援センターに配置した。 母子保健型利用者支援事業の母子保健コーディネーターから紹介された親子のモニタリングをしつつ、保護者等からの相談に応じる。	引き続き基本型利用者支援事業における子育て支援コーディネーターを中央子育て支援センターに配置する。母子保健型利用者支援事業の母子保健コーディネーターから紹介された親子のモニタリングをしつつ、保護者等からの相談に応じる。児童センターにも出向き、保護者等からの相談に応じる。今後さらに事業の周知を目指す。
放課後児童クラブの拡充等	子ども課	放課後児童クラブの利用対象:小学校5・6年生まで拡充	-	100%	小学校4年生まで	100%	放課後児童クラブの利用対象を小学校5・6年生まで拡充	平成30年度より児童クラブの利用時間を30分延長し、19時までとする。
	学校教育課	-	-	-	-	-	来迎寺小学校にて、放課後子ども教室と児童クラブが使える施設が建設された。	今後、他の学校においても放課後、児童クラブとの連携について検討する。
寡婦(夫)控除のみなし適用の実施	各課	-	-	-	-	-	【子ども課】 平成28年4月から保育料及び私立幼稚園就園奨励費補助金の算定に寡婦(夫)控除のみなし適用を実施 【健康増進課】 母子栄養食品支給事業において、平成28年4月1日より支給申請の審査にあたり寡婦(夫)控除のみなし適用を行った(平成29年度適用対象なし)。 【建築課】 家賃計算時の収入額算定ではすべての該当世帯にて適用する。	【子ども課】 今後も継続実施 【健康増進課】 今後も継続実施 【建築課】 今後も継続実施

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート(平成30年度)

基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	基本目標の評価
いくつになっても安心して暮らせるまちだと思ふ人の割合	33.5%(2013年)	50%(2019年)	-	-	-

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	平成29年度の取り組み事業	今後の展開
ミニバスの近隣市乗り入れの強化	まちづくり課	-	-	-	-	-	三河八橋駅、東刈谷駅、野田新町駅への乗り入れを継続	近隣市とのコミュニティバス乗り入れを強化することにより、生活圏・経済圏に基づいた移動を可能とし、相互間での公共施設や商業施設等を利用し易くし、生活の利便性の向上を図る。
ミニバスのインフラ整備に合わせたコース等見直し	まちづくり課	-	-	-	-	-	H29.10にミニバスのダイヤ改正を実施	連続立体交差事業、街路事業等のインフラ整備による踏切の解消、駅の移設、街路の開通等の進捗状況に合わせて、ミニバス運行コース等の見直しを行い、さらに利用しやすいミニバスを目指す。
空き家対策の推進	建築課	-	-	-	-	-	空家対策計画を策定	計画に基づき、空家発生の抑制に取組む。
公共施設配置等の適正化	財務課	公共施設等総合管理計画の策定	-	100%	100%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・知立市公共施設等マネジメント委員会を開催し、計画の進捗を管理 ・施設カルテの充実 ・施設使用エネルギーの調達先の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・知立市公共施設等マネジメント委員会による全庁的な取組体制の継続、強化 ・公共施設保全計画の見直し ・道路照明灯等のLED化 ・知立市エコプランの改定と省エネ設備導入の検討
地域包括ケアの推進	長寿介護課	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業としてチラシを作成し、市民へ周知を行う ・医療介護職の連携ツールとしてICT(情報通信技術)を導入する ・地域の介護予防教室の場として、まちかど運動教室を開始する 	地域包括ケアシステムの構築のため「医療・介護・予防・住まい・生活支援」を一体的に提供できる体制を推進していく。在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業、生活支援体制整備事業を立ち上げる。
効率的な都市基盤強化の推進	都市計画課	-	-	-	-	-	立地適正化計画(居住誘導区域に関する事項等)の策定	立地適正化計画に基づき、都市機能や居住が適切な配置となるよう届出制度などにより誘導していく。
ソーシャルキャピタルの蓄積と健康づくりの推進	各課	-	-	-	-	-	<p>【福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の支え合い、顔の見える関係作り促進のための住民会議「昭和未来会議」の開催 ・昭和未来会議における地域の将来像を実現するためのアクションプロジェクトの実施支援 <p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康ボランティア 活動支援 ・知立市食ともの会 活動支援 ・健康推進員 活動の支援 <p>【都市計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩みちの清掃や巡視活動を行う「散歩みち協議会」の定期開催 ・市民参加のイベントとして「わくわくウォーキング」を11月に開催 ・「新日本歩く道紀行100選」に選ばれた知立神社から無量寿寺までのルートを紹介する看板を無量寿寺に設置 <p>【生涯学習スポーツ課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催 ・自主講座活動の支援 ・イベントの開催 ・社会教育団体への支援 	<p>【福祉課】</p> <p>昭和未来会議を継続して実施し、新たな課題への対応等を検討しながら、地域住民の関係作りを深めていく。同時に、アクションプロジェクトの拡大、増加を通じて、さらなるソーシャルキャピタルの蓄積を図っていく。</p> <p>【健康増進課】</p> <p>今後も継続実施。知立市食ともの会、健康推進員については養成支援も行う。</p> <p>【都市計画課】</p> <p>今後も継続実施</p> <p>【生涯学習スポーツ課】</p> <p>今後も継続実施</p>
生涯学習の推進	生涯学習スポーツ課	-	-	-	-	-	既存生涯学習推進計画の内容確認	計画策定にあたっての基本的な方針や手順を決めるための事前調査を行う。
消防団の充実	安心安全課	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・機能別消防団員の定例会議の実施 ・普通救命講習の実施 ・災害協定市への団員派遣による訓練参加 ・知立市総合防災訓練を始めとする消防行事への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分団で考えた訓練の実施(想定訓練) ・機能別消防団員の定例会議及び団員向け研修の充実(庁外研修(消防学校)) ・引続き消防行事及び災害協定市への派遣を実施

知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート(平成30年度)

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成28年度)	実績値(平成29年度)	平成29年度の取り組み事業	今後の展開
自助・共助・公助の息づくまちづくりの推進	各課	—	—	—	—	—	<p>【協働推進課】 市民協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体が行うまちづくり提案事業に対して補助を行う「知立市輝くまちづくり提案事業補助金」制度を新設した。</p> <p>【安心安全課】 各町内の自主防災会活動支援(講演会、リーダー研修等)により自助・共助の推進 ・防災ラジオや家具転倒防止金具配布、メール配信による公助の実施</p> <p>【福祉課】 ・住民同士の支え合い、顔の見える関係作り促進のための住民会議「昭和未来会議」の定期開催 ・昭和未来会議から派生した取り組みを具体化するためのプロジェクトミーティングの随時開催</p> <p>【環境課】 ・犬のフン放置に対して行うイエローカード作戦への支援 ・環境美化推進員が環境美化活動を行う際に必要な資材等を提供する要綱の整備及び支援</p>	<p>【協働推進課】 主に市制50周年をテーマとした事業を募集し、市民活動団体の活性化やまちづくり推進を目指す。</p> <p>【安心安全課】 今後も自主防災会活動支援(講演会、リーダー研修等)の実施や、各防災会が主催となった訓練等を通じた自助・共助の推進を図る。 また、今後も防災ラジオや家具転倒防止金具配布、メール配信による公助を実施する。</p> <p>【福祉課】 昭和未来会議を継続して実施し、新たな課題への対応等を検討しながら、地域住民の関係作りを深めていく。同時に、会議から派生した防災イベント等の実施を通じて、さらなるソーシャルキャピタルの蓄積を図っていく。 また、UR都市機構と包括協定を締結し、住民の健康医療福祉の向上と共に、地域活動の活性化に寄与するための、官民連携事業を実施していく。</p> <p>【環境課】 イエローカード作戦を広報等でPRしていき、イエローカードの認知度及び効果を向上させる。 環境美化推進員については、市が主導して行う環境美化活動をきっかけに、それぞれの地域で自主的に環境美化を行うことを目指す。</p>
広域行政・広域連携の推進	企画政策課	衣浦定住自立圏共生ビジョンの策定	—	100%	100%	100%	ビジョンに記載された事業実施のため、関係各課及び中心市である刈谷市との連携を密に行った。	今後も継続実施
		衣浦東部広域行政圏計画の策定	—	100%	100%	100%	広域連携先進地の視察	ICTを活用した業務改革やスケールメリットを活かした包括契約など連携して実施できる事業を検討していく。
	安心安全課	西三河災害時相互応援協定の作成	—	100%	100%	100%	・西三河減災連携研究会及びプロジェクトチームの実施 ・災害協定市との防災訓練等を通じた相互交流(総合防災訓練にて避難所運営訓練の連携を図り、実施した)	災害協定市とは防災訓練以外の機会でも人的交流が図れるようにしていく。
	まちづくり課	—	—	—	—	—	接続点において、各市町とバスの乗り入れについて連携を取った。	引き続き各市町と連携を取り、住民の利便性向上を図る。
	協働推進課	—	—	—	—	—	衣浦定住自立圏市民活動サイト「つながるねット」のPRイベントの開催	今後も継続実施
	経済課	—	—	—	—	—	・西三河広域観光推進協議会での観光情報発信システム(西三河ぐるっとナビ)実施 ・衣浦定住自立圏観光分野事業、山車を核とした観光ネットワークでの観光PR事業	観光情報発信システムや山車を核とした観光ネットワークを活用し、観光の推進を図る。
健康増進課	—	—	—	—	—	・地域医療連携ネットワーク事業 ・医療関係者等連携強化事業	今後も継続実施	